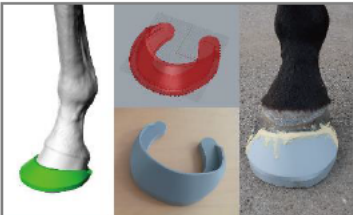


北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター	
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン関連技術支援・人材育成事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1. 技術相談・技術指導(無料) 中小企業が取り組む新製品企画、コンセプト開発、デザイン試作・評価、ブランディング、またデザイン業とのマッチングなど、様々なデザイン開発関連の相談に対してアドバイスや支援を行います。技術相談は一回～数回程度、技術指導は数回～数ヶ月程度に渡って対応しています。 【R4 年度実績】技術相談 201件、技術指導 18 件(図 12)。 2. 派遣指導・短期実用化研究開発(有料) 当場の研究職員を依頼企業に中長期間派遣(6 日以上)し、製品開発やデザイン活用、ブランディングなどに関する技術的課題の解決に企業と協働して集中的に取り組めます。R4 年度デザイン分野実績:短期実用化研究開発 3 件。 【R4 年度支援テーマ】 ・人間中心設計導入のためのワークショップ実施支援 ・医療機器の使いやすさを向上するオプション用具の開発 ・センサーを用いた生体情報取得機器の開発 3. 設備使用・依頼試験(有料) 非接触 3 次元測定機、5 軸 NC 加工システム、光造形システム、3D プリンター、UV プリンター、真空成形機など、各種デザイン試作設備を道内企業に開放しています(設備使用)。また、製品開発の各種試験や分析を依頼したい方や、試験・分析結果の成績書が必要な方に依頼による各種試験分析を行っています(依頼試験)。 【 R4 年度実績】設備使用 67 件、依頼試験 53 件 4. 人材育成事業(無料) デザイン開発プロセスに活用できる各種デジタルツールやアプリケーションをテーマに、実践的な研修・セミナーを実施しています。 【R4 年度研修・セミナー例】 ・3D スキャンの最新技術とスキャンデータを用いたコンテンツ事例 ・Blender レンダリングセミナー ・アプリ不要の XR コンテンツ製作実習 ・UnrealEngine による 3D コンテンツ開発概要と XR デバイス体験会 ・3D デジタル造形研修(図 3)			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-



図 1 製品デザイン支援(小型色彩選別機)



サラブレッドの跛勢異常矯正用 3D プリント蹄鉄

図 2 3D ツール活用支援



フォトグラメトリ支援事例

左写真: 3D スキャン装置を用いた建物スキャン
右写真: 3D モデル作成結果の例
写真下: 3D モデル作成結果の例

本事業: 3D スキャン装置を用いた建物スキャン
対象施設: 3D モデル作成結果の例
本事業: 3D スキャン装置を用いた建物スキャン
対象施設: 3D モデル作成結果の例

図 3 フォトグラメトリセミナー



図 1 製品デザイン支援(小型色彩選別機)



図 2 3D ツール活用支援



図 3 フォトグラメトリセミナー

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター	
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン関連研究開発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
道内企業が新製品開発やデザイン活用をより効果的・効率的に進められるように、デザイン方法論やこれを支援するツールの開発、これらを活用した実践的なケーススタディ研究に取り組んでいます。 <主な研究テーマ> 1.食品の 3DCG 制作の効率化に関する研究(経常研究 R4～5) CG 制作業、広告業等における blender など高度な 3DCG ツールの活用を促進するため、独自プログラム等により、表現が難しい食品の 3DCG 動画を従来手法の 60%程度の工数で制作することが可能な手法を開発。 2.人間中心設計のための UX プロトタイピングに関する研究(経常研究 R5～6) 製品開発プロセスに人間中心設計を導入する際、開発者間での共通理解や合意形成をするには、部分的でも詳細でリアルティを感じることや、ユースシーンを把握できることが有効なため、人間中心設計の考え方とラフ試作技術を基に、デザイナーではない企画担当者や設計担当者でも手軽に UX プロトタイピングを実践できる手法を開発。 3.北海道内の SDGs に貢献するアップサイクル製品開発ガイドラインの開発(公募型研究 R5) 持続可能な循環型社会(SDGs)の実現のため道内でもアップサイクル製品の開発事例が増えつつあるが、製品に求められるアップサイクル特有の要求事項の不明確さが課題。このためアップサイクル製品に対する消費者の感性価値を解明し、アップサイクルに資する製品開発の指針となるガイドラインを開発。 4.食の戦略研究・第III期(戦略研究 R2～R6) 北海道立総合研究機構内の複数機関が連携して取り組む、「北海道の食」をテーマとした分野横断型研究において、農作業を支援する器具のデザイン開発や、寒冷地独自の栽培技術で展開する北海道の新野菜についてコミュニケーションデザインを担当。			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	—

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター	
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン開発力向上講座「つくりながら考えるデザイン」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
デザイン未活用のものづくり企業を対象に、自社製品開発にデザインの考え方や手法を取り入れるための実践講座を令和3年より開始しました。ノンデザイナーでも取り組める、簡易試作を積極的に取り入れたプログラムとなっています。 【令和4年度 デザイン開発力向上講座】 期間:7月～2月 集合開催4回 個別ワーク20回程度 講師:高橋尚基デザイン事務所 代表 高橋尚基 氏 参加者:道内中小企業 3社5名 参加費:無料 【講座の内容】 ①企業訪問:講師が参加企業を訪問し、保有技術や製品開発に関するヒアリングと製造現場の視察を行い、今後の製品開発アドバイスの参考とします。 ②製品開発:参加企業が選定した開発テーマについて、アイデア探索と簡易試作による気づきを繰り返しながら、魅力ある製品企画案の検討を進めます。外部アドバイザーの助言や参加企業間の相互評価も活用します。 ③成果発表:製品外観モックアップやバーチャルパンフレットの形で製品企画案を具現化し、最終回で発表・講評を行います。講座修了後も製品化に向けたフォローアップを行います。			
			
		簡易試作を取り入れたワークショップ	
			
		製品企画案の発表と講評	
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年	—

北海道	機関名	札幌市
	部署名	経済観光局産業振興部産業振興課
	電話連絡先	011-211-2392
事業名	プロダクトデザイナー派遣事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
さっぽろ連携中枢都市圏域内(※)の中小製造業を対象に、デザインを活用した製品開発の成功事例やデザイン戦略の有効性等について紹介し、意識啓発を図るセミナーを開催するとともに、デザイン、マーケティング、セールス、ブランディング等の専門家及びそれらを統括する製品開発プロデューサーを企業へ派遣し、製品開発から販売戦略までの一貫的な支援を行う事業を実施 ※札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町 ①専門家チームによる製品開発支援【支援実績(令和4年度):3社】 新製品開発や新事業展開を目指す意欲のある企業に対して、豊富な企業支援実績を持つ「製品開発プロデューサー」(プロダクトデザイナー)及びマーケティングやブランディング等、各分野の専門家「製品開発アドバイザー」により構成する支援チームを派遣し、製品開発を支援 ②SAPPORO ものづくり×デザインセミナー【令和5年3月9日(木)、参加人数 35 名】 基調講演:「激動の時代に挑む！製品開発とは」(講師:株式会社コボ 会長 山村真一氏) ※その他、過年度に支援を受けた企業による講演等を実施 ■実施団体 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 <参考 URL> https://sec.or.jp/hanro-kakudai/mono-zukuri/dispatch/		
		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成 25 年度
		予算額
		3 600 千円

北海道	機関名	旭川市	
	部署名	経済部産業振興課	
	電話連絡先	0166-65-7047	
事業名	あさひかわ創造都市推進協議会負担金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
産学官金が連携し、デザインによるまちづくりを推進するため、「あさひかわ創造都市推進協議会」に負担金を支出。			
あさひかわ創造都市推進協議会 概要			
■目的			
デザインの視点で旭川の資源や魅力を見つめなおし、豊かで潤いのある暮らしや創造力豊かな人材育成及び地場産業の新たな魅力と活力の創出に繋がる取組を、市民や企業、団体が連携して実施する。			
■設立			
平成 31 年 3 月			
■会員数			
団体 28、個人 1(令和5年3月現在)			
令和4年度 実施事業			
■デザイン×経営セミナー			
①中小企業デザイン経営導入支援			
・実施回数：5 回			
・参加者数：延べ 397 名			
②一般向け			
・実施回数：5 回			
・参加者数：延べ 242 名			
			
【デザイン×経営セミナー(一般向け)】			
デザインのちからーデザインが起こす社会課題×アクションー			
■デザイン都市パネル展(あさひかわデザインウィーク 2022 に参加)			
・開 催 日：令和 4 年 6 月 15 日～26 日			
・内 容：国外のデザイン都市 13 都市と、国内の創造都市 9 都市をパネルで紹介			
・場 所：旭川市民ギャラリー			
・来場者数：579 名			
■子ども向けデザイン出前授業			
・内 容：小～高校生を対象に、デザインの仕事やデザイン思考を伝える出前授業の実施			
・実 施 数：6 校(454 名)			
<参考 URL> https://design-asahikawa.jp/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	5 100 千円

北海道	機関名	経済産業省北海道経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室
	電話連絡先	011-709-2311 (内線2586)
事業名	デザイン経営導入支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<概要、目的> 北海道内の企業においてデザイン経営の普及・促進を図ることを目的として、デザイン経営の導入に資するセミナーを実施するとともに、企業のニーズに応じたデザイナーや弁理士等の専門家で構成された支援チームによるハンズオン支援を実施。 <令和4年度 事業内容> (1)導入支援プログラムの実施 中小企業と共創してデザイン経営の導入を実践してきたデザイナーや、デザイン経営を実践する経営者を講師に迎え、デザイン経営を実践する上で必要な知識、デザイン・デザイナーの役割や知的財産の保護・活用の重要性、期待できる効果等、自社のゴールイメージを描くことを目指した講義を実施。 (2)ハンズオン支援の実施 デザイナーや知財専門家をパートナーに迎え、自社のビジョンやビジネスモデルの更新、社内組織のデザインに至るまで、参加企業の課題に応じた施策検討と、プロトタイプ制作を実施。 (3)成果報告会の開催 ハンズオン支援終了後、本事業の成果報告会を対面及びオンラインのハイブリッド形式で開催。支援企業より本事業を通じて得られた成果について発表いただくとともに、本支援に携わったデザイナーをはじめとした専門家よりデザイン経営の効果や実践方法をテーマとしたクロストークを実施。		
↓ 成果事例集  		
令和5年度実施予定		開始年度
令和4年度で事業終了		令和3年度
		予算額
		7 600 千円